

令和七年度 二学期 終業式 式辞

今日で2学期が終わります。みなさん、この2学期を振り返って、一生懸命、後悔なく生きてきましたか？

私は穴水高校に赴任して3年目です。令和5年4月、現3年生の入学式で、初めてこのステージに立ち、みなさんの希望に満ち溢れた姿を目にしました。そして、1学期終業式、2学期始業式、終業式と計4回このステージからみなさんに話をしました。

令和6年元日、能登半島地震が発災しました。令和5年度3学期は穴水中学校で過ごしました。当時の中学3年生は、高校入試を穴水中学校で行いました。それが現2年生ですね。

その後、令和6年4月から本校校舎に戻る事が出来ましたが、体育館の損傷が大きく、6年度も、7年度も入学式、卒業でこのステージは使えませんでした。

今年の夏休みから、体育館、格技場、生徒玄関、管理教室棟の復旧工事が本格的に始まりました。今日現在、ほぼ工事が完了し、今こうして私はステージ上で話をしています。来年の1月末には、校舎内の水道が使えるようになる予定で、そうなれば体育館下のトイレも使用でき、少しずつではありますが、みなさんの学習環境が整ってきます。グラウンドと図書館棟の復旧には、これから数年かかるかもしれませんが、焦らず一歩ずつ継続していくことが復旧復興への道だと思います。

これまで、色々な場面で我慢をしなければならなかったみなさんですが、それを表に出すことなく、環境に負けないで学校生活を送ってくれた姿に、心から「ありがとう」と言いたいです。

失敗したところで

やめてしまうから失敗になる。

成功するところまで続ければ

それは成功になる 松下幸之助

小さなことを重ねることが

とんでもないところに行く

ただひとつの道

イチロー

偉業を成し遂げた二人の言葉に共通することは、「あきらめずにコツコツと努力を積み重ねることが大切である」ということです。

努力しても一気に成績が伸びるわけではありません。すぐに結果を求めて、成果が上がらなければあきらめ、そこで努力することを止めてしまう。それでは何の意味もありません。

本校の今年度の目標の一つは「できない理由を考えるのではなく、どうすればできるかを考える」です。明日からの生活を充実させ、それぞれの目標を達成するために、冬休み、年末年始を過ごしてください。変えることのできる「将来」に向け、一生懸命、後悔なく生きていきましょう。1月7日の始業式に皆さんに会えることを楽しみにしています。

令和7年12月23日（火）

校長 島崎 康一